

猿島小学校の取組(別添資料)

ICT支援員の活用

1 ICT支援員を講師に迎えた職員研修

ICT支援員を講師に、ベネッセ「オクリンク」の操作方法や授業での活用方法について職員研修を実施した。先進校の活用事例などを紹介してもらい、自校での活用につなげた。

これ以外にも日常的にICT支援員と相談することで授業改善につなげている。これらの研修により、9月には全職員がスムーズにオンライン授業を実施することができた。



ICT職員研修(8/6)

2 校内授業研究会へのICT支援員の参加

校内授業研究や全体会にもICT支援員が参加することで、学校が目指している授業改善の方向性について共有している。

教員が目指しているICTの活用について、希望する活用方法の提供や助言を受けることができている。



3年校内授業研究(7/15)

3 ICT支援員による児童用パソコンのメンテナンス

児童用パソコンに不具合が出たときには、メンテナンスをICT支援員が行い、児童は予備機を使用することで、学習に遅れが出ないようにすることができた。パソコンの専門的な知識がないと対応できないような機器トラブルにも1次的な対応を依頼している。教員が対応しなくてもよいため、精神的にも時間的にも負担が大きく減っている。

4 児童の実態に応じたICT機器活用

担任と相談しながら、ICTを支援員より児童の実態や学年に応じたICTの活用方法を助言してもらっている。



5年ジャムボードによる考えの共有



3年手書き入力による計算